

105の文化財を見に行こう！

県指定7件・市指定98件のうち、両面あわせて56件を紹介します。案内板を
目印に、鹿屋市の魅力ある文化財をめぐってみましょう！

文化財の分類

- 考古資料
- 建造物
- 彫刻
- △ 有形民俗
- ▲ 無形民俗
- ☆ 史跡
- ★ 天然記念物

地域分類

- 輝北エリア
- 串良エリア
- 鹿屋エリア
- 吾平エリア

7 中津神社本殿



高隈郷の鎮守神社で、この本殿は承応2年(1653年)に建てられた。構造は三間社流れ造りで、屋根は薄板を何層も重ねた柿葺きである。

9 花岡町花岡山浄福寺の小型阿弥如来尊像



高さ9mmほどの小さな仏像で、花岡島津家6代久誠の妻・時が所持していた。当時の支配者層にも隠れ念仏(一向宗)が広まっていたことが分かる貴重な資料である。

65 花岡島津氏歴代墓地



花岡島津初代久備から9代久基に至るまでの歴代の墓である。特徴として、男女で墓の形を区別している。墓のほかに、六地藏や菩薩像などの石造物もみられる。

55 八月口説踊



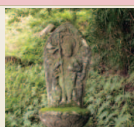
川東町に約300年前から伝わる踊りで、旧暦の8月28日(10月中旬ごろ)に和井田公園と町内の水神をめぐり、五穀豊穡を祈って奉納される。

92 いぬまき



中央公園近くの熊野神社境内にある。高さ約15m、幹まわり約6.3mの大木で、幹が空洞で枝を広げる姿は風格と威厳を備える。

47 小鳥神社の庚申塔



江戸時代前期の延宝2年(1674年)に建立された塔で、背面金剛を本尊とする庚申塔では市内で最も古い。顔1つに腕が4本、邪鬼を踏んでいるなど、端正で簡潔である。

76 伊地知氏宅の五輪塔



南北朝時代、南朝方勳王僧として正平3年(1348年)に高須に来て、涼之上神社に立願文を捧げた昌光僧都の逆修供養塔と推定される。全高2.2m、黄色灰泥瓦(通称・山川石)葺。

53 鉤引き祭り



300年以上続く中津神社に伝わる神事で、毎年2月第3日曜日に行われる。上高隈・下高隈が雄鉤・雌鉤の神木を引き合い勝負し、勝てば1年間豊作になるといわれる。

51 祓川町八月踊り



祓川町で江戸時代中期から行われていた踊りで、旧暦の8月28日(10月中旬ごろ)に行われる水神祭で奉納される。

66 観音測中世供養塔群



鎌倉時代から戦国時代にかけての、肝付氏と富山氏による地域の開田作業や戦乱の時の供養塔群で、洞穴の中に約90基の石塔が並んでいる。

54 しか祭り



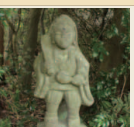
七坊長田貫神社(田崎神社)に伝わる神事の一つで、毎年2月17日に行われる。神様が狩りや野火をつける姿などが表現されることから、神祭とも呼ばれる。

52 大始良西方椿踊り



岩戸神社に伝わる神事で、旧暦8月午の日(11月上旬ごろ)に五穀豊穡、厄病退散、家内安全を祈念して奉納される。虚無僧姿で踊る椿踊りめずらしく、激しい踊りが特徴。

32 大牟礼の田の神



旅僧型の田の神像で、右足を少し上げて歩く姿を表現している。頭にシキをかぶり、右手のスリコギを肩にかつぎ、左手にシャモジを持ち、背首にずだ袋をさげている。

28 烏ヶ山の月待供養塔・観音



右側は、月輪を背にした如意輪観音を主尊とする月待供養塔で、果下で数少ない。左側は、庚申信仰と観音信仰の融合した観音像で、享保16年(1733年)の作。

23 八幡神社境内の田の神



鎌の柄に両手を置いた旅状ち田の神で、ほぼ方形に残っている。大きなシキを背後に長く垂らしてかぶり、背中にはワラツトとシャモジを背負っている。

88 下名鳥瀬観音



吉野川沿いにある天然の岩屋の中に安置されている、おだやかな表情の観音像である。像の高さは約107cmで、「享保六年」(1721年)と記されている。

吾平

- 短甲・衝角付青野の田の神
- 山宮神社奉養に伴う芸能
- 笠野原持燈の深井戸
- 五穀
- 板敷
- 中津神社本殿
- 祓川の花園
- 花岡町花岡山浄福寺の小型阿弥如来尊像
- 含粒寺石像群
- 仁王像
- 中福良の八幡神社境内の田の神
- 笠野原持燈の深井戸
- 庚申地蔵
- 丸山寺の石塔群
- 福師の三尊石仏
- 谷田の六地藏
- 谷田の六地藏
- 下平の田の神
- 鶴岡城本丸跡
- 宮園の田の神
- 歌丸の田の神
- 中福良の八幡神社境内の田の神
- 鮎屋敷の観音
- 荒平の六地藏
- 長谷観音・長谷城跡 中世石塔群
- 鳥ヶ山の月待供養塔・観音
- 水場薬師および薬師堂割口
- 上野寺の庚申等
- 車田の田の神
- 大牟礼の田の神
- 大塚原の六地藏
- 生栗須の六地藏
- 柚木原基地の平面六地藏
- 岡崎上の田の神像
- 南木池の田の神像
- 中屋敷の田の神像
- 中山池の庚申塔
- 鳥之東の庚申塔
- 下名真角の田の神など
- 上名真角の田の神など
- 上名真角の山本観音
- 上名真角の観音
- 上名真角の六地藏
- 小島神社の庚申塔
- 含粒寺跡
- 下名真角の古石塔
- 徳留の虚空蔵菩薩像
- 祓川町八月踊り
- 大始良西方椿踊り
- 鉤引き祭
- しか祭り
- 八月口説踊
- 田の神像
- 朝倉鉤引き祭
- 高須町の刀舞
- 鶴岡城本丸跡
- 地頭館跡
- 正安の五輪塔
- 小島神社の石塔群
- 下名川北天神原の五輪塔
- 花岡島津氏歴代墓地
- 観音測中世供養塔群
- 白雲大観音五輪塔群
- 中野小野原基地の納骨堂
- 上名西田川路の逆修塔
- 北原氏逆修古石塔群
- 加瀬田・城跡
- 朝倉の隠れ念仏祠
- 下名真角の金剛經一万巻読誦所碑
- 下名真角の宝篋印塔
- 蓮台寺跡の中世石塔群
- 五輪塔
- 立小野の石塔群
- 立小野の石塔群
- 安達室基地古石塔群
- 松崎観音堂の古石塔群
- 北郷・山本基地古石塔群
- 野崎神社の古石塔群
- 下名川北の石塔群
- 門前中用水路の水神碑及び弁慶改修記念碑
- 鶴岡神社境内の野町観音
- 玉泉寺跡の住職の供養墓など
- 立小野の石塔群
- 下名真角の古石塔
- 上小原4号古墳
- 岡崎20号古墳
- いぬまき
- クサ
- 川原川産カワゴロモ
- 諏訪神社の古木(イチョウ・イヌマキ)
- 北原基地の銀杏
- 宮内神社境内のナギ
- 事代主神社境内のクス
- 十五社神社境内の銀杏
- 桐尾岳のひぜんまゆみ
- 大賀ハス
- 海軍航空隊笠野原基地跡の川東境榎
- 海軍航空隊串良基地跡の地下壕遺構(司令室)
- 川原川井堤の柴刈

72 朝倉の隠れ念仏祠



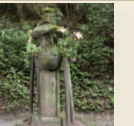
薩摩藩の一向宗(浄土真宗)禁制による弾圧を免れるためにつくられた念仏祠。暗夜や嵐の日などにこっそり集まり、声や明かりの漏れない洞穴の奥で本尊を拝み読経した。

22 歌丸の田の神



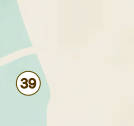
弘化4年(1847年)建立。製作者は「佐吉」とある。左手にスリコギをたてて持った、丸顔の田の神像である。

34 生栗須の六地藏塔



像形のしっかりしたもので、串良エリアで最も古い。塔身に「延宝5年」(1677年)などの文字が刻まれている。

36 中郷の田の神像



袖長の長衣にシキをかぶり、右手にスリコギ、左手にシャモジを持ち、右膝を少し立てている。像の背面には「天保5」(1834年)などの文字が刻まれている。

49 下名真角の古石塔



南側の像は馬頭観音としてつくられたもので、天明5年(1785年)の作。北側の像は背面金剛が彫られた庚申塔で、「天明八」(1788年)と記されている。

73 下名真角の金剛經一万巻読誦所碑



金剛經を一万巻読誦した記念に建てられた石碑で、大隅半島でも非常にめずらしいものである。「元龜二年」(1571年)や南無阿彌陀仏、梵字などが刻まれている。

17 下方の六地藏



全高2m。この六地藏は「イボの神様」として親しまれており、塔身に大豆を供える風習があった。そのため、指が入るぐらゐの穴が数多く見られる。

19 下平の田の神



右手にシャモジ、左手にスリコギを持ったユーモラスな表情の田の神像で、田植え前には豊作を祈って集落の人々によってお化けなされる。

35 柚木原基地の平面六地藏



一枚石の平面に六地藏が並んで彫られている。六地藏といえは六面体の塔が一般的に知られており、平面のものは大変めずらしい。

36 中郷の田の神像



正面と右側面に薬師如来像、左側面には烏帽子水干姿の合掌人物像が彫られている納骨堂である。肝付氏6代領主兼藤の納骨堂とする説が有力視されている。

40 中山池の庚申塔



縦1m、横57cm、幅25cmで、船形の碑の正面に背面金剛が浮き彫りされている。右側に「享和二年」(1802年)や、左側に「中山中人数八拾人」などの記銘がある。

62 正安の五輪塔



全高1.9m。「正安元季」(1299年)などが刻字されている。元は西田川路にあったと伝わる園入寺阿弥陀堂の脇に建てていたが、昭和37年に鶴戸神社へと移設された。

50 徳留の虚空蔵菩薩像



頭に宝冠をかぶり、右手に宝剣、左手に宝珠を持ち、蓮の台座に座った像である。虚空蔵菩薩は、多くの幸福や財産、知恵を持ち、人々に分け与えてくれる仏とされる。

80 アンダ室基地古石塔群



鎌倉末期～戦国末期の五輪塔2基。室町末期～戦国末期の宝塔6基が復元されている。おおむね肝付氏・北原氏のものだが、島津氏久の相輪請託部の伏拝残欠も残る。

99 十五社神社境内の銀杏



周囲5.9m、高さ20.5mを越す巨木で、樹齢260年以上と推定される。秋にはたくさんのギンナンが実り、地域住民に親しまれている。

68 中野小野原基地の納骨堂



正面と右側面に薬師如来像、左側面には烏帽子水干姿の合掌人物像が彫られている納骨堂である。肝付氏6代領主兼藤の納骨堂とする説が有力視されている。

98 事代主神社境内のクス



樹齢450年以上と想定され、周囲が5.8m、高さ21mを越す巨木である。クスの巨木は串良エリアでは非常にめずらしい。

指定文化財一覧(令和7年3月時点)